

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No.2 \* \*

## — 島牧における初漁の漁獲物を測定 —

中央水産試験場  
後志南部地区水産技術普及指導所

### 主群の適正サイズ到達は間もなくの見込み

#### 調査の概要

2013年5月5～6日に島牧海域において初漁があり、その漁獲物から採集いただいた標本の測定を行いましたので、結果をお知らせします。関係者の皆様、調査にご協力ありがとうございました。

#### 初漁遅れるも、主群は適正サイズ到達直前

昨年より10日ほど遅れた初漁の漁獲物（下段）は、大きくみて2個のふ化群で構成されていました。体長20～22mmで観察された主群は、漁期前調査（上段）では12～14mmで主体だった群です。これら主群は4月上旬頃にふ化した群と考えられ、間もなく適正サイズ（22～23mm以上）に達して、漁期前半の漁獲物の主体になる見込みです。一方、すでに体長29mm前後に達していた群は、漁期前調査では19mm前後で観察されていた群と考えられますが、これらの豊度はあまり大きくなりません。また、ふ化時期は3月下旬と推定されます。

今期は若干の低水温傾向が続いていますが、これら2個のふ化群の成長量は、4月21日から5月5日の14日間で8～10mm程度であり、成長速度はほぼ例年並みか若干遅めのようです。

一方、現在15～19mmの4月中旬に発生したとみられる群の動向が、漁期後半の漁獲量や終漁時期に大きく影響すると考えられますが、現時点では詳しい状況は不明です。今後の漁獲量や漁獲物組成の推移を注視していきたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

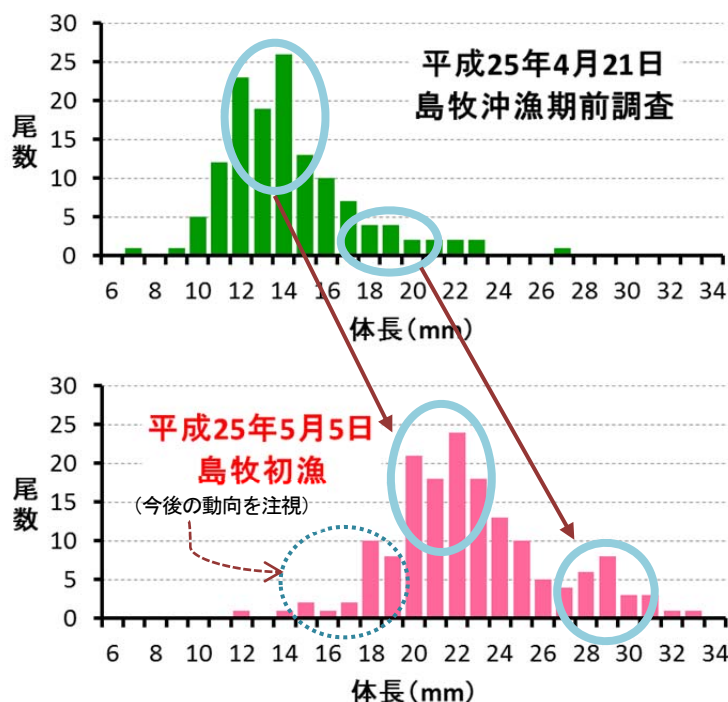


図 標本体長組成

上段 (漁期前調査)

下段 (今回の島牧初漁)